

学校再開における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対応について

館林市立第四小学校

【令和2年5月26日現在】

(1) 1日の主な流れ

	児童の動き	教員の動き	
登校前	<ul style="list-style-type: none"> ・検温をし、健康観察カードを記入する。 ⇒平熱+0.5℃以上、もしくはかぜ症状(咳・息苦しい・喉の痛み・だるさ・頭痛)がある場合は、<u>自宅で休養する。</u> 	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・起床後、検温を行う。 ⇒37.0℃以上、もしくはかぜ症状(咳・息苦しい・喉の痛み・だるさ・頭痛)がある場合は、<u>自宅で休養する。</u>
登校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学班で登校する。その際、<u>児童間は1m以上空ける。</u> 		
学校到着後	<ul style="list-style-type: none"> ・東昇降口で、健康観察カードを養護に提出する。 ・未記入の児童、押印のない児童、健康観察カードを忘れた児童は、その場で検温を行う。 ・マスクを忘れた児童は、養護にマスクをもらう。 ・教室に入る前に手洗い、アルコール消毒、水分補給を行う。 	養護教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・7:45に東昇降口を開ける。
		養護	<ul style="list-style-type: none"> ・東昇降口で健康観察カードを確認し、健康であることを確認できた児童のみ教室へ行くよう指示をする。 確認事項 <ul style="list-style-type: none"> ●平熱+0.5℃未満であるか ●かぜ症状(咳・息苦しい・のどの痛み・だるさ・頭痛)はないか ●健康観察カードの記入に不備がないか ⇒健康であることが確認できない児童がいた場合は、<u>担任に保護者連絡を依頼する。</u> <u>児童は職員室で待機させ教室に入れない。</u> ・健康観察カードに不備のある児童は、検温を行うよう指示をする。 ・マスクを忘れた児童にマスクを配布する。
		教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・非接触型体温計で児童の検温を行う。 ⇒平熱+0.5℃以上の児童は、<u>担任に保護者連絡を依頼する。</u>
		担任	<ul style="list-style-type: none"> ・教室前廊下で待機し、手洗い、アルコール消毒、水分補給を行うよう指導する。 ・健康であることが確認できない児童がいた場合は、保護者連絡をして、早退させる。 <u>児童は職員室で待機させ教室に入れない。</u>

授業中

・机の間隔をできる限り離す（1m以上が望ましい）。

・可能な限りマスクを着用する。

※熱中症対策のため、体育の授業においてはマスクを着用しない。

担任

・教室の換気に努める。エアコン使用時も、換気を行う。

・児童同士の接触が最小限になるように努める。

・児童の健康観察を常に行い、体調不良者の早期発見に努める。※熱中症に注意する。

・密閉、密集、密接を回避し、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い以下の学習活動については延期又は中止とする。

音楽

狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動

家庭科

調理等の実習

体育

児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動

※体育を実施する場合は、以下の点に配慮する。

●子ども同士の距離を2m以上確保

●可能な限り屋外で実施

その他

・児童生徒が密集して長時間活動するグループ活動

・運動会や文化祭、学習発表会、修学旅行など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事

休み時間	<p>5分休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業が終わる毎に、手洗い、アルコール消毒、水分補給を行う。 <p>20分休み・お昼休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間前、休み時間後に、手洗い、アルコール消毒、水分補給を行う。 <p>※遊びの制限は特に設けない。</p>	<p>20分休み・お昼休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WBGT を測定する。WBGT が28℃以上の場合、放送で外遊びの制限を行う。 ・休み時間終了のチャイム後に、「あわあわ手あらいのうた」を放送する。
		<p>5分休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対角線上の窓を開け、教室の換気を行う。エアコン使用時も喚起を行う。 ・手洗い、アルコール消毒、水分補給を行うよう、指導する。 <p>20分休み・お昼休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対角線上の窓を開け、教室の喚起を行う。エアコン使用時も喚起を行う。 ・手洗い、アルコール消毒、水分補給を行うよう指導する。
		<p>20分休み・お昼休み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に換気を行う。 ・休み時間終了後、図書室の消毒を行う。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、アルコール消毒、水分補給を行う。 ・台拭き係は、濡らした台拭きにアルコールを2プッシュし、テーブルを拭く。 ・角バット係、食缶係以外は、配膳係とし、自分の給食を自分で取りに行く。パン、牛乳、ストロー、スプーン等は自分で取る。 ・角バット係、食缶係は、盛り付け後、自分の給食を取りに行く。 <p>給食を食べる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1、2年生⇒教室 ◆3～5年生⇒ランチルーム ◆6年生⇒クラブ室 <p>※間隔を空けて座り、一方向を向いて食べる。会話は控える。</p>	<p>担任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、アルコール消毒を徹底させる。 ・給食当番健康観察を行い、下痢、発熱、腹痛、嘔吐等の症状の有無、衛生的な服装をしているか、手指は確実に洗浄したか等、給食当番活動が可能であるか確認する。 ・会話は控えるよう指導し、児童同士の接触が最小限になるよう努める。

【その他】

- ・はみがきは通常通り行う。※はみがきの際は、水道前が密にならないよう配慮する。
- ・流し掃除、トイレ掃除は、必ずゴム手袋を着用して行う。

(2) 体調不良者の対応

保健室・職員室で対応する。

- ・保健室内をパーティションで区切り、複数人来室した際も対応できるようにする。
- ・ベッドは極力使用しない。長椅子や処置台に寝かせたり、かけ布団にバスタオルを使用したりし、感染予防に努める。
- ・来室者が多数になった場合は、職員室で対応する。
- ・発熱がみられた児童は、保護者連絡し、職員室で待機する。
- ・保健室、職員室は常に換気を行う。

※以前からの変更点

児童を1人で別室においておくことはできないので、相談室、クラブ室は使用しない。

早退の基準

- 平熱+0.5℃以上
 - かぜ症状(咳・息苦しい・喉の痛み・だるさ・頭痛)がある
- ⇒上記にあてはまる場合は、保護者連絡をする。保護者と相談後、早退させる。

(3) 校内消毒について

児童下校後、全職員で校内消毒を行う(ドアノブ・手すり・スイッチ等)。

消毒方法

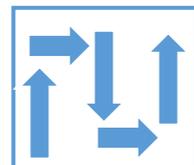
- ①マスク、ゴム手袋を着用する。
- ②消毒用エタノールをペーパータオル、ぞうきん等に染みこませ、消毒する箇所を一定方向に拭き取る。

※消毒用エタノールが終了し、次亜塩素酸水を使用する場合も上記と同様の手順で行う。

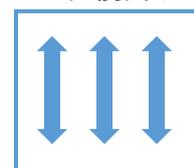
消毒箇所

・ドアノブ ・手すり ・スイッチ ・椅子の背もたれ部分(手で持つ所) ・その他多くの児童が手を触れる箇所

○ 一方向拭き



× 往復拭き



消毒場所分担表

消毒場所	担当者
教室	担任
1階トイレ	1、2年担任
2階トイレ	3、4年担任
中央トイレ	5、6年担任
第一学習室	学力向上担当
理科室	理科担当
ランチルーム	給食委員会担当
コミュニティスクール事務室	CS担当
階段手すり	養護教諭、副担任
保健室	養護教諭
相談室	養護教諭
職員室	事務職員
その他特別教室	使用した学年の担任

その他

- ・まずはペーパータオルを使用し、ペーパータオルが終了し次第、ぞうきんを使用する。(コストの関係上)
- ・ぞうきんを使用する場合は、教室等を消毒する用とトイレを消毒する用の2枚を使い分ける。
- ・特別教室を使用した場合は、放課後に消毒を行う。その都度消毒する必要はない。